

25名の部員紹介

3年 梶塚春華
伊藤昌展



3年 原本千明
鳥谷部健太



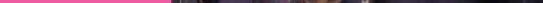
3年 天谷幸枝
上原佑紀



3年 梅田敬仁
飯間彩花



2年 川崎長門
真島二也



2年 高樽優也
武内優弥



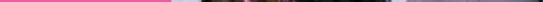
2年 野村彬仁
小松愛子



1年 榎晃太朗
南保隆人



1年 木崎翔太
庄司 開



1年 塚口和希
串間宏允



平成23年前期行事予定

1月
16日 六会ホースショー
(日本大学馬術部合宿所)

2月
19日~20日 スクーリングジャンプ&ドレッサージュpartI
(JRA馬事公苑)
23日~24日 2月ホーストライアル
(JRA馬事公苑)

3月
4日~6日 第41回関東学生新人戦・OB戦
(JRA馬事公苑)
4日~6日 三獣医馬術大会
(東京競馬場)

12日~13日 スクーリングジャンプ&ドレッサージュpartII
(JRA馬事公苑)
19日~20日 3月ホーストライアル
(JRA馬事公苑)

25日~27日 関東学生春季馬術大会パートI
日立馬術競技大会
(JRA馬事公苑)

25日 卒業式
(日本武道館)

4月
8日 入学式
(日本武道館)
15日~17日 関東学生春季馬術大会パートII
第48回東都学生馬術競技大会
(JRA馬事公苑)

20日~21日 4月ホーストライアル
(JRA馬事公苑)

5月
3日~5日 JRAホースショー
(JRA馬事公苑)
21日~22日 都民体育大会
(JRA馬事公苑)

27日~29日 全日本総合馬術大会パートII
(JRA馬事公苑)

6月
10日~12日 第81回関東学生争覇戦
(JRA馬事公苑)
23日~26日 第46~62回 関東学生馬術三大大会
(JRA馬事公苑)

合宿所・馬場

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野840

TEL: 0466-81-0288

FAX: 0466-81-8885

e-mail _____

nuet@msj.biglobe.ne.jp

web _____

<http://www.nu-equestrian.com>

皆様応援よろしくお願いします。

日大馬術部 ブログ

「むっちい」をご存じですか?

大人気「むっちい」は日々更新中。六会の楽しい出来事がわかりますよ。ぜひご覧になって下さい!

動画配信はじめました!!

(編集担当) 梶塚 春華、川崎 長門

Nihon Univ. Equestrian Team

Vol.12 2011. Winter



勝つということ

藤とメジロサンゴ以来、24年振りとなる2回走行個人優勝を果たし、天谷と桜檜は馬場で3位、梅田と桜蓬も総合で個人2位を始め、出場した14人馬中12人馬は個人で入賞と、チーム全体の総合力は、監督就任当初から比べると格段に力はついたのかと思うところはありますが、負ければどれも同じです。

勝つということは一体どういうことだろうか、どれだけ崇高なもので、どれだけ険しい道のりなのかをもっとチーム一人一人が考えなくてはならない。競技で勝つ、相手に勝つ、勉学で勝つ、自分自身に勝つ、言葉を出せばきりがないが、肝心なのは、勝つために何をどう取り

組むかということだ。

来シーズンはより高い意識の中で、勝つために励んでもらいたい。新3年生の奮起とレベルアップが大きな鍵だろう。経験のある野村、高樽、強い3年生がいるときはいいチームになる。厳しい環境を自ら作りチームを盛り上げてほしい。いつも言いますが、2回走行目を減点0でこれるチームは、やはり実力があり強さがあるということ。馬場も総合においてもミスをしないで崩れないチームが必ず勝つということです。来年こそチーム一丸、日大魂で頑張りますので、皆様変わらぬご声援をどうぞよろしくお願いします。

全日本学生レポート

総合馬術競技優勝! 障害個人も24年ぶりの優勝!

学生馬術の頂点を決める闘いである全日本学生。今年もその時がやってきました。部員それぞれが不安や緊張、様々な思いを抱いて臨みました。

1日目の障害飛越競技では、1走行目が終わった時点での鳥谷部と桜俊が減点4、その他の選手はミスが目立ち減点を重ねてしまいました。2走行目ではほとんどの選手が1走行目のミスを修正し減点は少なかったのですが、前日の減点が響いてしまい悔

しい結果となってしまいました。そんな中、鳥谷部と桜俊が2走行目の減点は0。ジャンプオフに進む事が出来ました。みんなが見守る中、見事満点走行!団体は2位という結果でしたが、24年ぶりの障害個人優勝という快挙を成し遂げました!

3日目の馬場馬術競技では天谷と桜檜、上原と桜士、伊藤と桜秋が決勝進出。団体では障害に続き明治に敗れ2位となっていましたが、決勝の自由演技では伊藤と桜秋が10位、上原と桜士が6位、天谷と桜檜が会心の演技で見事3位という結果でした。

総合馬術競技では、梅田と桜蓬が調教審査をトップで通過し耐久審査も0で来たものの、余力審査で惜しい1落下をしてしまい、個人2位という結果に終わってしまいました。しかしその他の選手も全員が10位以内に入賞、総合馬術団体優勝を勝ち取る事が出来ました!



3種目総合は2位という悔しい結果に終わってしまいましたが、この悔しさを胸に、次こそは全日本の頂点に立てるよう日々精進して行きたいと思います。

障害馬術競技 優勝

3年 生物資源科学部・食品経済学科 鳥谷部健太／桜俊

桜俊とは昨年からコンビを組み、全日本学生への出場は2回目でした。昨年は減点4という悔しい結果で終わったため、今年こそは0でという強い気持ちで挑みましたが、1走目から落としてしまいました。しかし、あきらめずに2走目を0で走行し、JumpOffに残る事が出来ました。自分でも残れると思っていなかったので、残ったからには自分との闘いもありチーム貢献でもあるため「ここまできたからにはやるしかない」と自分に何度も言い聞かせました。その気持ちが伝わったのか桜俊は落とさずに走ってくれて優勝する事が出来ました。ジン、ありがとう！



馬場馬術競技 第3位

3年 商学部・経営学科 天谷幸枝／桜楓

桜楓に出会って半年。私と桜楓はお互いに初めての全日本学生に臨んだ。初日の規定演技、3番手の私にとって「勝つ」というプレッシャーはとても大きかった。特に団体戦を勝つためには、私が優勝しなければならない。この想いから規定演技は大きなミスをすることはなかったが、丁寧過ぎたように感じた。そのため、パーセントは伸びず、団体戦は2位という結果に終わった。団体戦で優勝できなかっただけは悔やまれたが、気持ちを切り替え次の日に行われる自由演技(個人戦の決勝戦)に集中した。当日の朝、監督より「今日は個人戦、思いきってやれ。それで勝てたらそれは本当に前の実力だ」という言葉を頂いた。私はその言葉を、自分を、そして何よりも桜楓を信じて競技場へ入場した。そこには横断幕が掲げられ、いつも見守ってくださっている多くの方々の姿が目に入った。その時、私はこんなにも多くの方に支えられてここまで来ることが出来たのだ。それはとても幸せなことで、やはり誰もが認めてくれるような素晴らしい演技がしたい。自分たちが楽しく演技をすれば、必ずそれは観ている全ての人々に伝わるはずだから。結果は3位。私たちは、自分たちの持っているものを全て出し切った演技であった。3位というのは悔しいが、まだ優勝するには早いということだったのだろう。これをバネに来年、4年生最後の全日本学生では、団体戦・個人戦ともに優勝できるよう頑張っていきたい。



総合馬術競技 第2位

3年 生物資源科学部・植物資源科学科 梅田敬仁／桜蓬

今私は関東学生と同じ桜蓬で出させていただきました。関東学生は2位という結果になり、その反省点を踏まえ全日本まで調整をしてきました。そして臨んだ全日本学生。調教・耐久と何度かミスをしたものの、馬がしっかりとカバーしてくれてトップのまま余力を抜きました。しかし、余力では人間がプレッシャーに負けてしまい1落ち、関東学生と同じ2位という結果で終わりました。あと一步の所で日本一を逃したので、監督・コーチには申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、終わった後に何の方から「来年もあるのだから頑張れ」と暖かい言葉をいただきました。その言葉と桜蓬から教えてもらった経験を胸に、次こそは日本一を勝ち取りたいと思います。ありがとうございました。



全日本学生馬術三大大会特集

障害馬術競技 第16位

2年 生物資源科学部・動物資源科学科 高樽優也／桜春

桜春とコンビを組んで1年が経ちました。コンビを組んだ当初は失敗ばかりで馬に迷惑をかけていました。なぜ落下をしてしまうのかを考え、試合のビデオを見たり積極的にコーチに相談をしたりしました。そしてあっという間に関東学生を迎めました。初めての関東学生で凄く緊張てしまい、思うような走行が出来ずチームに貢献できないまま終わってしまいました。それから毎日必死に練習をしました。そして迎えた全日本学生。先輩方の頼もしい姿を見て「迷惑をかけたくない」と思い競技に臨みました。1走目は自分のミスで3回落してしまいました。しかし馬はすごく調子が良く、2走目の手ごたえを感じました。2走目は1落、結果16位。桜春には本当に助けられ、とても感謝しています。次こそは団体・個人ともに優勝を狙い、桜春と頑張っていきたいです。



馬場馬術競技 第6位

3年 生物資源科学部・獣医学科 上原佑紀／桜士

桜士とは2回目の全日本学生でした。前回の7位から1つ上がり今回6位でした。桜士は経験のある馬なので、本番でも練習馬場と同じように動いてくれます。なので上がり症の自分も桜士となら落ち着いて演技が出来ます。それが安定した成績に繋がっていると思います。障害と総合では、みんなの足を引っ張る結果を出していました。もう一度自分の弱点を見つめ直し、最上級生としてみんなを引っ張っていけるよう、粉骨碎身で頑張っていきます。最後の年、悔いの残らないよう全力で戦える準備をしていきたいと思います！



総合馬術競技 第4位

3年 生物資源科学部・植物資源科学科 小野敬司／桜勝

3年生になって桜勝とはコンビを組ませて頂きました。経験が豊富な桜勝は「俺についてこい」と言わんばかりに僕に色々教えてくれました。そして初めての関東学生。桜勝の助けもあり、調教審査が思ったよりも良く余力審査も0だったのですが、耐久審査で大幅なタイム減点を負い7位という結果に終わってしまいました。諸岡監督には「小野は1か10しかないから間をとて馬に乗りなさい」という言葉を頂き、夏の間にもっと考えて馬に乗る事と基本的なフラットワークの練習を徹底して行き、全日本学生に臨みました。調教審査は慎重になりすぎ61%という結果で、1番不安だった耐久審査では肩に力が入っている僕に、細野コーチは「何も緊張する事はない、トラアイルと思っていけ」とおっしゃって下さいました。そのおかげで思い切って行く事ができましたが、結果6秒ほどタイムはこぼれてしまいました。しかし障害減点は0、個人では4位に入賞、そして総合団体優勝する事ができ、本当に良かったです。監督・コーチの皆様、馬付き、部員のみんな、そしてここまで自分をひっぱってくれた桜勝には本当に感謝しています。残り1年、1戦1戦を大切にし、全戦全勝を目指し日々精進していきたいです！



施設紹介

新厩舎



蹄洗場



厩舎・丸馬場に統一して新しい蹄洗場も完成しました！旧蹄洗場より数も増え、とても綺麗で広くなりました！ゴムマットもしっかり敷いて、安全性にも気を付けています。そしてなんとまわりの木枠は部員の手作り!!気持ちもこもっていますよ♪馬達も喜んでいる気がします☆



馬紹介

桜楓



「りんごちゃん」「ぶぶぶつ」私たちと桜楓の間ではそんな会話が毎日。人の姿が見えたら必ず鳴く。いつも「何かちょうどいい」って騒いでいる姿は、まるで小さな子供みたい。あんなぜりんごちゃんかって？ それは、なんどあの有名なピートルズ・リンゴスターの奥様が乗っていたからだそうだ。なので、愛称は「りんご」。今ではどこに行っても「りんご」って呼ばれている。たぶん、桜楓も自分のことを「りんご」だって思っているはず。桜楓は、寂しがり屋でやんちゃ。そしてとってもワガママなお坊ちゃん！ いつでもどこでも皆から言われる言葉は「りんごちゃん可愛いね」ばかり。桜楓もそれをわかっているかのように誰に対しても愛想がいい。確かに、どこをとっても可愛らしい。全てが集まって一つの体に凝縮されたみたい。乗ってもスーパー。ただ…今の悩みは、もう少し大人になってほしいな～りんごちゃん！

文責:3年 天谷幸枝



桜珀

桜珀ことファルコンです。今年六会にやってきたニュージーランド産、サラハノーバーです。普段はおっとりノタノタ歩いています。新厩舎にいくと顔を出しているのは決まってファルコン。どうせ、「なにかもらえないかなあ…」って思ってるんじよ。食べ物には目がないので、焦らすと本気で怒ってる(笑)馬鹿だねえ～。障害に向かうとまるで戦車！普段からは想像も出来ないほど爆走!!でも、水濱はちょっと苦手です(汗)頬むから一発で跳んで…。おじいちゃんみたいって言われるけど、まだ14歳なんだからね！ファルじいじゃないです！スーパー2走馬目指して頑張るぞおお！

文責:1年 神林夏実